

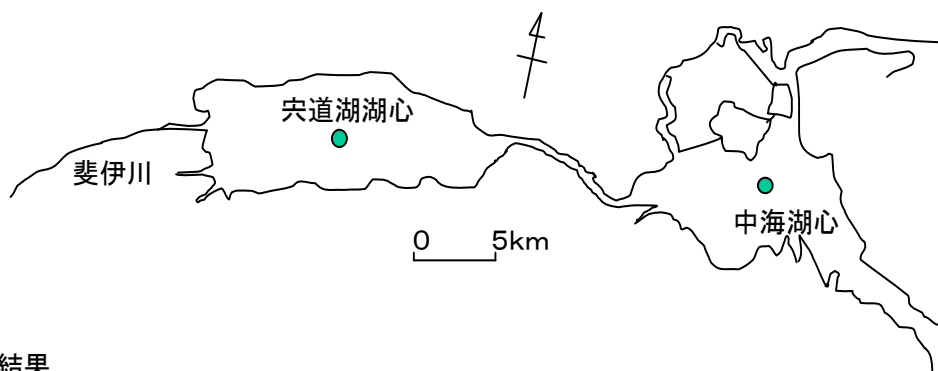
# 輝水だより（第95号）

〔お問い合わせ先〕 島根県環境生活部環境政策課

水環境グループ(電話:0852-22-5562)

平成17年11月の宍道湖・中海の水質状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

## 1. 調査地点



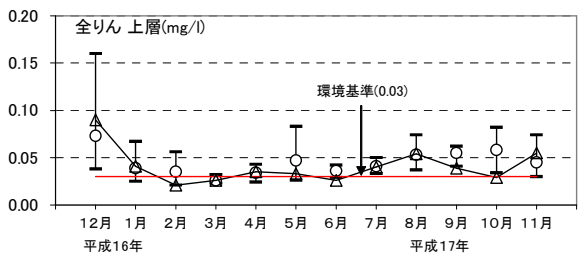
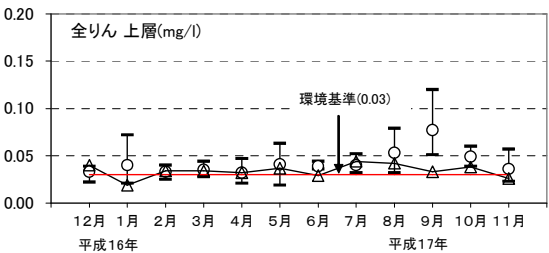
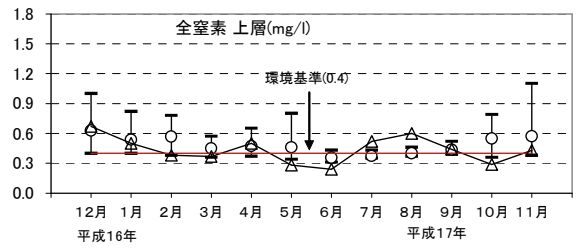
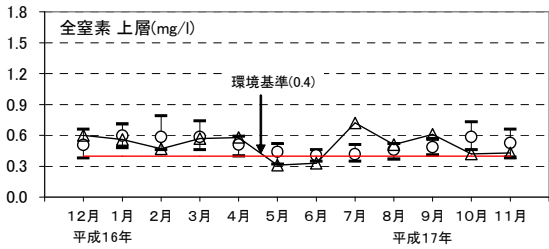
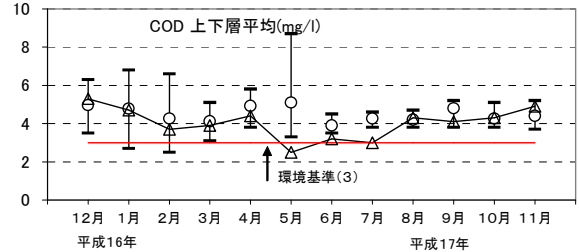
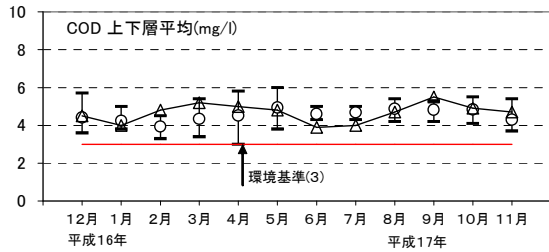
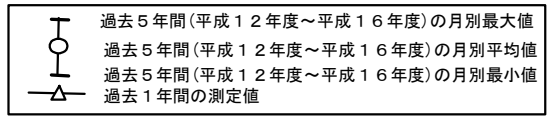
## 2. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間(平成12年度～16年度)の同月と比べると、COD（化学的酸素要求量）は平均値より高く、全窒素及び全りんは平均値より低い濃度でした。
- (2) 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、CODは平均値より高く、全窒素は平均値より低く、全りんは平均値より高い濃度でした。
- (3) 10月下旬に中海北部と本庄工区中央部でメゾディニウム ルプランという動物プランクトンによる赤潮発生の情報がありましたが、11月初旬の調査時には終息していました。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]*平成16年度平均	
			9月	10月	11月	9月	10月	11月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	°C	—	26.4	23.4	16.8	28.4	23.0	18.0	—	—
pH(上層)	—	6.5～8.5	9.1	8.6	7.8	8.9	8.5	8.6	—	—
COD(全層平均)	mg/l	3以下	5.5	4.9	4.7	4.1	4.3	4.9	4.9	4.3
SS(上層)	mg/l	5以下	7	5	3	3	4	3	7	6
DO(上層)	mg/l	7.5以上	10.7	8.7	8.4	12.1	8.4	9.0	9.6	9.6
DO(下層)	mg/l	7.5以上	3.5	8.3	6.5	2.3	3.1	3.7	8.7	4.1
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.61	0.42	0.43	0.44	0.29	0.43	0.54	0.5
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.033	0.038	0.026	0.039	0.029	0.055	0.044	0.044
Cl(上層)	mg/l	—	2000	2800	3100	7300	11100	11700	2000	8100
Cl(下層)	mg/l	—	3000	2900	3200	15500	16100	16300	2200	13000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	欠測	26.2	10.1	欠測	5.0	16.9	24	20

\*平成16年度公共用水域水質測定結果による。

(9月のクロロフィルaについては分析機器不調のため欠測)



宍道湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH** 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD** 化学的酸素要求量の略称です。湖水の中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS** 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO** 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素** 水中の窒素の量を示します。全りんとともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん** 水中のりんの量を示します。全窒素とともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- クロロフィル a** 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl** 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は約19000mg/lです。